

# 志段味カルタ 散策マップ

歴史・文化・自然…「志段味カルタ」に詠まれた様々な志段味の魅力をご紹介します

●散策・見学時のお願い  
近隣住民、通行者、所有者のご迷惑にならないよう、節度ある行動を心がけてください

## ～行事・風習～

### おまんこ(馬の塔)

神明社→濁り池→観音寺→八幡神社を経て龍泉寺へ  
標具(ダシ)と呼ばれる札や御幣を立て、豪華な馬具で飾った馬を社へ奉獻する神事。吉根、大森、篠木の3合宿が龍泉寺へ献馬しました。吉根合宿には、吉根村を端馬にして上・中・下志段味村、上・中・下水野村が参加し、昭和10年頃まで行われていました。

### 提灯山

8月には百八灯の提灯を取り付けた提灯山が立てられ、提灯祭りが行われています。

上志段味：勝手社  
中志段味：諏訪神社  
下志段味：八幡神社

### 廿二夜様

月齢で二十二日の夜に月待ちをすれば願い事が叶うという月待信仰の一つ。上・中志段味は旧暦7月22日(廿二夜様)、下志段味は23日(廿三夜様)、吉根は8月15日に氏神様に集まり、立ったままで月が昇るのを待つ「オタチマチ」という願掛けをしました。



### 念仏講

旧暦の14日に行っていたことから、「十四日念仏」とも言います。夕食後、毎月の交代宿に集まり、仏前でお経をあげます。

### 尻据えぼた餅

婚礼の後、手作りのきなこ・あんこの大きなぼた餅を、新夫婦が一つ皿から一緒に食べました。この家に腰を据えて生活を始めるようにと、二人の門出を祝う近隣の人々の願いが込められていました。

### 浮塵子(うんか)送り

稲の花の出来る頃、稲に群がる浮塵子の群を追い払うために、夏休みの子どもたちが太鼓を叩きながら「うんかの神送りの一ホイホイ」と畦道を歩き回りました。

### 「吉根」の由来

この辺りは桔梗が多く、桔梗(きちこう・きぎょう)だった地名を人々が「キッコ」と呼びならわしたことから吉根と書くようになったという説が有力です

### 大久手古墳群

西大久手古墳 5世紀中頃に築造された墳丘長約37mの帆立貝式古墳。発掘調査で馬・人物・鶏の形象埴輪が出土。

東大久手古墳 5世紀後半に築造された墳丘長約3.9mの帆立貝式古墳。円筒埴輪列や須恵器が出土。

大久手5号墳 5世紀後半に築造された帆立貝式古墳。現在は古墳の半分が残っています。

### 白鳥塚古墳(国指定史跡)

4世紀前半に築かれた市内最古の前方後円墳。墳丘長約115mで、熱田の斯夫山古墳、犬山の青塚古墳に次ぐ県下3番目の大きさ。後円部に白色の石英が露かされていたことが「白鳥塚」の語源であるとも言われています。

### 志段味大塚古墳(国指定史跡)

5世紀後半に築かれた墳丘長約51mの帆立貝式古墳。五鈴鉦や馬具、武器など多くの重要な副葬品が出土。

### 勝手塚古墳(国指定史跡)

6世紀初頭に築かれた墳丘長約55mの帆立貝式古墳。原形が非常によく保存されています。平成20・27年の発掘調査では墳丘を囲む円筒埴輪列を確認。

### 「志段味」の由来

尾張神輿集説本之訂考(嘉永3年(1850))に「志談(しだみ)は、下垂水(しだみ)にて尾張山水のしたたるより地名となれり」と記されています

### 「クダキツネ」

昔、病人がおこなった仕業をする、病人の杖元に油あげを置き、それなくなればクダキツネが来たかと判断されました。クダキツネに取りつかれた病人がわはは〇〇寺の稲荷だと言ったこともあったとか

### 「元」大日の渡し

準備し忘れたものが台座で蒸されてしまつたことも…

昔は校庭が狭かったため、志段味東・西小学校合同で、川原で運動会を開催しました。河原の一番広い所を選び、石を拾ってトラックやフィールドを作りしました。

### 「人柱となった和尚」

昔この地にあった長津寺(寛永13年(1636))に追転し無寺の道通和尚は、庄内川の氾濫による飢饉、疫病をなげきまし、上流の岐阜県恵那市へ行き、延宝元年(1673)その地に寺を再興しました。和尚は自ら造った石室に弘法大師の石像を彫りて入り、食を断ちお経を唱えながら仏になつたといわれています。

昔、旧長戸川沿いに崖があり、冬は一抱えもある大きな水柱が沢山下がりしました。

### 「志段味カルタ」でふるごとめり

みんなで100個のタイルを並べました。その敷きなんと21万6千個!

### 「吉根」の由来

この辺りは桔梗が多く、桔梗(きちこう・きぎょう)だった地名を人々が「キッコ」と呼びならわしたことから吉根と書くようになったという説が有力です

### 「志段味」の由来

この辺りは桔梗が多く、桔梗(きちこう・きぎょう)だった地名を人々が「キッコ」と呼びならわしたことから吉根と書くようになったという説が有力です

### 「志段味小僧」伝説

昔、久寿寺に満瑞さんという小僧がいました。寺堂再建の折、大勢の夫達が犬黒柱の土台石を運ぼうとしたがピクリとも動きません。それをみた満瑞さんはニコニコ笑いながら一人て石を持ち上げて運びました。住職さんはその力を村のために役立てるよう諭し、満瑞さんはこの説話を守って村人のために尽くしました。



### 「志段味」の由来

この辺りは桔梗が多く、桔梗(きちこう・きぎょう)だった地名を人々が「キッコ」と呼びならわしたことから吉根と書くようになったという説が有力です

### ～東谷山～

東谷山 市内最高峰で標高198.3m。ニホンカモシカ(特別天然記念物)やムササビ、ニホンリスも生息するほか、生きた化石とも呼ばれるシデコブシが数多く自生するなど、貴重な自然が残されています。

東谷山山頂 尾張戸神社・尾張戸神社古墳(国指定史跡) テーブルストーン

### ～東谷山～

東谷山 市内最高峰で標高198.3m。ニホンカモシカ(特別天然記念物)やムササビ、ニホンリスも生息するほか、生きた化石とも呼ばれるシデコブシが数多く自生するなど、貴重な自然が残されています。

### ～神社・仏閣～

久寿寺 慶長5年(1600)創建。度重なる水害のため、昭和3年(1928)字細川原から段丘上の現在地に移転。享保年間(1716～36)に当寺で修行していた怪力の「志段味小僧」伝説が残されています。

観音寺 天正13年(1585)創建で、守山区大永寺町にある大永寺の末寺。江戸から明治にかけて寺子屋がおかれ、明治の初めにはおよそ20人の生徒がいました。

神明社 享保9年(1724)遷座された古社。境内には山之神社や水神碑、神明用水記念碑があります。

八幡神社(下志段味) 創建年不詳ですが、本殿の棟札の最も古いものは貞享元年(1684)の路があります。庄内川の度重なる水害のため明治53年(1872)現在地に移転し、明治33年(1900)新築再建しました。

八幡神社(吉根) 創建年不詳。かつては現在地から北東約1kmの所にありましたが、後に北西約500mの所に遷りました。その後、庄内川の度重なる水害のため明治元年(1655)現在地に移転。

龍泉寺・仁王門 【本堂】延暦年間(782～806)、伝教大師最澄の創建と伝えられ、また弘法大師空海が熱田神宮参籠中、宝剣を同寺に奉納した事から熱田神宮の奥の院と称される名刹。毎年2月3日の「節分会」には多く参拝者が賑わいます。

### ～神社・仏閣～

久寿寺 慶長5年(1600)創建。度重なる水害のため、昭和3年(1928)字細川原から段丘上の現在地に移転。享保年間(1716～36)に当寺で修行していた怪力の「志段味小僧」伝説が残されています。

観音寺 天正13年(1585)創建で、守山区大永寺町にある大永寺の末寺。江戸から明治にかけて寺子屋がおかれ、明治の初めにはおよそ20人の生徒がいました。

神明社 享保9年(1724)遷座された古社。境内には山之神社や水神碑、神明用水記念碑があります。

八幡神社(下志段味) 創建年不詳ですが、本殿の棟札の最も古いものは貞享元年(1684)の路があります。庄内川の度重なる水害のため明治53年(1872)現在地に移転し、明治33年(1900)新築再建しました。

八幡神社(吉根) 創建年不詳。かつては現在地から北東約1kmの所にありましたが、後に北西約500mの所に遷りました。その後、庄内川の度重なる水害のため明治元年(1655)現在地に移転。

龍泉寺・仁王門 【本堂】延暦年間(782～806)、伝教大師最澄の創建と伝えられ、また弘法大師空海が熱田神宮参籠中、宝剣を同寺に奉納した事から熱田神宮の奥の院と称される名刹。毎年2月3日の「節分会」には多く参拝者が賑わいます。

### ～神社・仏閣～

久寿寺 慶長5年(1600)創建。度重なる水害のため、昭和3年(1928)字細川原から段丘上の現在地に移転。享保年間(1716～36)に当寺で修行していた怪力の「志段味小僧」伝説が残されています。

観音寺 天正13年(1585)創建で、守山区大永寺町にある大永寺の末寺。江戸から明治にかけて寺子屋がおかれ、明治の初めにはおよそ20人の生徒がいました。

神明社 享保9年(1724)遷座された古社。境内には山之神社や水神碑、神明用水記念碑があります。

八幡神社(下志段味) 創建年不詳ですが、本殿の棟札の最も古いものは貞享元年(1684)の路があります。庄内川の度重なる水害のため明治53年(1872)現在地に移転し、明治33年(1900)新築再建しました。

八幡神社(吉根) 創建年不詳。かつては現在地から北東約1kmの所にありましたが、後に北西約500mの所に遷りました。その後、庄内川の度重なる水害のため明治元年(1655)現在地に移転。

龍泉寺・仁王門 【本堂】延暦年間(782～806)、伝教大師最澄の創建と伝えられ、また弘法大師空海が熱田神宮参籠中、宝剣を同寺に奉納した事から熱田神宮の奥の院と称される名刹。毎年2月3日の「節分会」には多く参拝者が賑わいます。

### ～神社・仏閣～

久寿寺 慶長5年(1600)創建。度重なる水害のため、昭和3年(1928)字細川原から段丘上の現在地に移転。享保年間(1716～36)に当寺で修行していた怪力の「志段味小僧」伝説が残されています。

観音寺 天正13年(1585)創建で、守山区大永寺町にある大永寺の末寺。江戸から明治にかけて寺子屋がおかれ、明治の初めにはおよそ20人の生徒がいました。

神明社 享保9年(1724)遷座された古社。境内には山之神社や水神碑、神明用水記念碑があります。

八幡神社(下志段味) 創建年不詳ですが、本殿の棟札の最も古いものは貞享元年(1684)の路があります。庄内川の度重なる水害のため明治53年(1872)現在地に移転し、明治33年(1900)新築再建しました。

八幡神社(吉根) 創建年不詳。かつては現在地から北東約1kmの所にありましたが、後に北西約500mの所に遷りました。その後、庄内川の度重なる水害のため明治元年(1655)現在地に移転。

龍泉寺・仁王門 【本堂】延暦年間(782～806)、伝教大師最澄の創建と伝えられ、また弘法大師空海が熱田神宮参籠中、宝剣を同寺に奉納した事から熱田神宮の奥の院と称される名刹。毎年2月3日の「節分会」には多く参拝者が賑わいます。